

がん看護学	3年・後期	1単位	講師 片桐 貴子
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34111023

### 1. 授業のねらい・概要

本科目は国民の死亡原因の第1位を占めるがんの予防から治療、がんに伴う苦痛を理解し、がん看護の役割を理解する。さらに終末期にある患者・家族に対する理解を深め、患者の全人的苦痛の緩和、QOL向上のための看護、命の問題について学習する。

### 2. 到達目標

1. がん看護の動向とがん看護における今日の課題について理解できる。
2. がん患者の身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな痛み(全人的苦痛)の特徴について理解し、看護の役割、援助方法が理解できる。
3. がん患者を支える家族の特徴を理解し、看護の役割・援助のあり方を理解できる。
4. がん治療に伴う看護方法について説明できる。
5. 緩和ケアの概念と実際について理解できる。

### 3. 授業の進め方

講義を中心に行うが、事例や視聴覚教材などがん看護の対象を想起できるように、生きた授業になるよう努力する。学生の主体的な取り組みを期待する。

### 4. 授業計画

1. 社会情勢の変化とがん看護	5. 身体症状と治療・看護③
2. スピリチュアルと緩和ケア	6. 精神症状と治療・看護
3. 身体症状と治療・看護①	7. 社会的ケア
4. 身体症状と治療・看護②	8. 家族ケア

### 5. 成績評価の方法・基準

筆記試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）80%、受講態度 課題レポート20%、

### 6. テキスト・参考文献

教科書：系統看護学講座 成人看護学 別冊 がん看護学 医学書院、  
ナーシンググラフィカ 緩和ケア メディカ出版

### 7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

テキストの予習・復習 各60分程度

### 8. 受講上の留意事項

人体構造学、人体機能学、疾病論等の既存の知識を必要とするので必ず復習した上で授業に臨むこと。  
自分で興味を持った生と死に関する書籍を各自で選択し事前に最低1冊以上読んでおくこと。

### 9. 課題に対するフィードバックの方法

試験実施の際に傾向や解答を口頭で説明するか試験実施後解答を掲示する。

### 10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。